



さわやか



塩川小児童のよさとその要因！

○「研究公開授業での子ども達は、“すごい”と思いました。さらに学力が付いていくだろうなと思いました。」(U小学校長)

○「3年生の学び合いとしては、たいへんすばらしい態度です。感心しました。」(秀明大小森教授)

最近いただいた子ども達への評価です。学校教育アドバイザーの神田優子先生は、明るく落ち着いていることに、「品」のよさも挙げていました。先日のマラソン記録会でも、全員が一所懸命に自分の出し切っていました。私は、こういう子ども達が育つ要因を、着任したときからずっと考えていました。

その要因に、家庭や地域の教育力があると私は思っています。そして、先生方の指導力や塩川小の校風があるとも考えています。外部の高評価を受けるようになってから、その要因は何かを機会あるごとに考えていました。現時点で言える要因は、以下の4つです。



全力を出し切る子ども達

ほめられる子が育つ、4つの指導(要因)

4つの要因が見える「キラリ塩小デー」に！



「がんばれ！がんばれ！」
友達を本気で応援する

★規律を重視した指導（例外を許さず、全員を同じ向きに揃える、理想とするかたちに揃える等）

♥話を聞く態度を育てる指導（話す人に体を向けて聞く等）

♣声を出させる指導（ペアで話す場を毎時行う。「はい」や「ありがとう」をしっかりと知らせる等）

※言語環境を悪くしない指導（子どもに、ていねいな話し方を教える。教師がていねいで品ある話し方で子どもに接する等）

先生方、この要因をどうおもいますか！？なるほどと思うか、まだ他にあると思うか・・・。

要因を明らかにして、意識した指導を意図的計画的にできたら、校風づくりにも有効に働くだらうなと思います。

「あ・は・も大賞」にご理解を！

二学期に入り、様々な分野でたくさん子ども達が表彰されています。自分もそうでしたが、表彰されることで、大きな自信につながりました。また、表彰される友達を見て、その内容が大切なことなんだという意識を持ちました。

そうした意味で、子どもを育てることはもちろん、本校が、「あ・は・も」の力育成に重点を置いた教育活動を実践していることについて、保護者・地域にも理解いただきたいとも考えています。

選定にあたって、悩むことや不安なことがあったかと察します。その理由に、具体的な評価の場がはっきりしないことが要因してると思いました。本来は、アクションプランに位置づけた活動等を通して評価していくべきものですが・・・。

「あ・は・も」大賞に、どうぞご理解いただき、子ども達の成長や意識高揚につながるようよろしくお願いします。

石山実習生は、教師のたいへんさと魅力を学んで大学に戻りました。

専門的な指導をたくさんの先生方からいただき、とても感謝していました。



「塩小の先生方のような、いい先生になります。」